

千船病院「毕ッチンカー」大集合

八百屋、ホットドッグ、バインミー etc……

毎週木曜日は、週1回のお楽しみ、千船病院前のキッチンカーが来る日! 地域の方々に、そして来院される方に少しでも楽しんでいただきたいという 思いから始まった企画です。新鮮な野菜が買えたり、美味しい料理が食べられたり――。その週にどのキッチンカーが来るかは、千船病院の Instagram などでご確認ください!!



2023年 春号

contents

- 02 千船病院広報誌「虹くじら」について
- 03 木曜日は「阪神電車福駅前」へ! 千船病院「キッチンカー」大集合

06 緩和ケアチーム 特集01

「緩和ケアには正解はないから、永遠に悩み続ける。悩み抜いた結果が正解だと思うようになった」

12 ちぶね~ぜ

副院長・泌尿器科主任部長 樋口喜英

14 (ちぶね~ぜ

診療情報管理室 システム担当・主任 段野香苗

16 関節センター 特集02

「年齢や病状によって治療を区切ることはできない。関節を長い期間で診るためにセンターを立ち上げた」

21 COLUMN 千船病院では 「ストリートメディカル | 実践中!

22 勤務前から終業まで駆け出し看護師の一日を「密着撮」

24 ちぶね~ぜ

看護助手·副主任 坂東眞由美

25 麻酔科 特集 03

麻酔科医の「専門性」、周麻酔期看護師の「存在価値」

30 ちぶね~ぜ

婦人科主任部長・鏡視下手術センター長 大木規義

32 ちぶね~ぜ

外科 非常勤医師 今村清隆

34 淀川のほとり、尼崎の隣 大阪市西淀川区「MAP」

36 QR コードで飛べる「一言つき」診療科案内

38 編集委員から一言

ごという名前をつけました。でんな思いから千船病院の広却知)ある人々を受けいれる存如)ある人々を受けいれる存

では、地域の方々に最高の医療を担しようという強い意思があること。困った者さんがいれば、可能な限り受け入れるとう姿勢です。

192、21診療科を有する急性期総合病は92、21診療科を有する急性期総合病

いない、乱切りを重りような犬鬼ごったといこの時点では医療法人としての申請も通ってして勤務する医師の名前をとったものでした所」が開設。阿部とは診療所にアルバイトと所」が開設。阿部とは診療所にアルバイトと

企業労働者に適正な医療の機会を与えた開発されていました。医療に恵まれないよら兵庫県に掛けての海沿いが工場地帯とり50年代後半に遡ります。当時、大阪京

病院広報誌「虹くじら」について





Mr. Shrimp (٤٨٤-٧٠١)

紅白が可愛いトラックの「Mr.Shrimp」で はオリジナルの海老料理を提供!自慢の ガーリックバターシュリンプは大ぶりの海 老に7種からお好みのバターを選べてお得







「フランスパン革命」は日本では珍しいバ インミー(ベトナム風サンドイッチ)がい ただけるキッチンカー。パンから手作りな ので出来たてはもちろん冷めても美味しい







果物屋

笑顔が素敵なおっちゃんが売りに来る旬の 果物はどれも安くて美味しい! おうちでのアレンジ方法を教えてもらえる のは対面販売ならではの特権です。リピー ターも多数!









えるふキッチン

可愛らしい韓国小物が飾られた「えるふ キッチン」ではオモニ直伝のキンパと韓国 フライドチキンを販売。迷ったときにはど ちらも食べられる「チキンパセット」がお すすめ!



高く掲げたのぼりが目を引く「HTT台湾」 は台湾直輸入の食材や香辛料を使った本場 の屋台料理が人気。とろみのある大腸麺線 や八角がきいたルーロー飯はまさに台湾夜







C"TIME (7-914)

黄色いトラックに大きなイラストが特徴の ホットドッグ店「C'TIME」。王道から月替 わりまで様々なホットドッグ&フレンチフ ライで Chillax time (くつろぎの時間) を お届け!













緩和ケアチーム

緩和ケアには正解はないから、 永遠に悩み続ける。 悩み抜いた結果が正解だと思うよう

になった。

取材・文 村上敬

中心に、経営論、自己啓発、法律問題など、幅広い分野で取材・執筆活動を展開。スタートアップから日本を代表する大企業まで、経営者インタビューは年間50本を超える。

写真 奥田真也

かつては緩和ケアはがんの「終末期」と強く結びつけられてい た。しかし、日本人の2人に1人はがんに罹り、治癒の可能性が 高くなってきた。いかにがんと共生するかが大切である。近年は がんと診断されてから緩和ケアが始まるという考え方が広がって いる。ジャーナリストの村上敬が、千船病院の緩和ケアチームに 密着した――。

時刻だ。 認定看護師、理学療法士、作業療法士、 ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養 千船病院の緩和ケアチ -の面々が「ラウンド」を開始する Δ 医師、

毎週金曜日の午後2時

和ケアの方針を決めていく 用語である。 や病棟の看護師と情報交換をしながら緩 が入院する病棟をチームで回り、 ラウンドは、 緩和ケアを必要とする患者 回診や見回りを指す医療 主治医

支援によって患者の生活の質(QOL) れて以降、身体的症状の緩和や精神的な がんなどの病気と診断さ

を改善する医療ケアを指す。

緩和ケア

ケアを探っていく。 情報をもとにラウンドが行われ、適切な 必要とする病棟の医師や看護師から寄せ 傾ける。緩和ケア認定看護師がまとめた もとに行き、患者の抱えるつらさに耳を ら情報収集を行ったうえで、 ケア認定看護師が患者周辺のスタッフか られる介入依頼がスタートになる。緩和 この日のラウンドでは、 ームと患者との関わりは、緩和ケアを 直接患者の

竹嶋好は、食欲増進効果があるアナモレ 食欲が落ちていた。それに対して医師のたとえば患者の山本さん(仮名)は最近、 要とする患者数人について情報交換した。 ンの処方を提案した。

緩和ケアを必

の献立、カツサンドです。 顔をほころばせる。 よう手配しときます!」 「本当ですか。ちょうどよかった。明日

間も話は続く。「もし確保できなかった 像していた。 情を排して淡々と進められるものだと想 と重苦しい雰囲気の中で行われるか、あ べたいわ」と他のメンバーも同調する。 テイクアウト らがっかりするやろうから、そのときは しての知見を交えつつも、まるで友達を るいは逆にプロフェッショナルとして感 「KYK、おいしいですもんね。私も食 緩和ケアラウンドは、その性質上、もっ 荒川がその場で手配の電話をしている ムは思いのほか和やか。専門家と しに行こうかな」と岩本。

山本さんはどうですか」 「ただ、適応条件がいろいろあるんです。

の針を巻き戻してみよう。

して形成されていったのだろうか。時計

温かみのある緩和ケアチー

岩本真由子が、すかさずカルテに目を走 「山本さんは適応外ですね。残念やな」 チームのまとめ役である認定看護師の

情報を提供した。 「食欲ないんです すると理学療法士の竹井夕華が新しい か?

ン)のとんかつ食べたい』って言っては 『〝KYK〟(関西の有名とんかつチェー ましたよ」 それを聞いて管理栄養士の荒川綾子が

1個確保する

しかし、千船病院の緩和ケ

船病院の緩和ケアチャ

認定看護師になると決意 親しい後輩の看取りを機に

認定看護師の岩本である。 ームの生みの親

かったが、小学校5年生からは兵庫県に幼いころから父の転勤で引っ越しが多 船病院など複数の病院を運営する愛仁会 の看護助産専門学校に通った。 は色あせることなく、高校卒業後は、 希望。その後もナイチンゲー 落ち着く。小中の職業体験では看護師を ナイチンゲー 年生のときだ。 岩本が看護の道を志したのは小学校4 ルの伝記がきっかけだった。 母親から買ってもらった ルへの憧れ

師の力もすばらしいなと」 番ですが、その力を信じて引き出す看護 く見ました。もちろん患者さんの力が一 励ましで動かせるようになった場面をよ せなかった患者さんが、看護師の助言や 「実習で、脳梗塞で思うように体を動か

棟の配属になる。 卒業後は千船病院に就職して、

た手技をお互いにやって復習したり。 ていました。新人同士でもその日教わっ くださり、その日の看護の振り返りをし 「当時は22時頃まで先輩が付き合って

見舞うかのように患者のケアについて話





充実した毎日でした」

を患ったのだ。 は5年目だった。後輩の看護師が乳がん 看護の仕事を考え直す機会が訪れたの

ても冷静ではいられなかった。 当をしてほしいと申し出があった。親し い人のケアをするのは初めての経験。 入院するにあたって、後輩から看護担 ح

気持ちなど、どうしても治療以外のこと 輩の生活の質のこと、遺されるご両親の がら治療されていました。でも、私は後 た。先生も後輩のことを思って苦しみな 「先生と意見がぶつかることもありまし

> しかできなくて……」 たと思いますが、あのときは偏った判断 生活の両方を考えながら冷静に判断でき に気持ちが向いてしまう。今なら治療と

腫などを取り除くケアを行う。その知識 や技術が圧倒的に足りなかったのだ。 は、患者の疼痛や息苦しさ、倦怠感、 自分の力不足も痛感した。緩和ケアで 浮

何なのか。専門外の医師や看護師には見

ムにぽつり

進行によって相応しい薬は異なる。それ はたくさんあるが、患者の考えや病状の

らを総合的に考慮した場合に最適な薬は

最期は『痛い、痛い』って。ほんまに申 が担当する以上、絶対苦しい思いをさせ し訳なかった。苦痛を訴える声は今も耳 ないでおこうと誓っていたんです。でも、 「彼女とは看取りまで一緒でした。自分

に残っています」

は患者の苦しみを和らげることはできな そう実感した岩本は緩和ケア認定看護 いくら思いが強くても、気持ちだけで

まわりは快く送り出してくれた。 に負担をかけることは心苦しかったが、 得には学校に半年 り、その間は病棟勤務ができない。 師の資格取得を上司に直訴した。資格取 年間通う必要があ 同僚

相談して緩和ケアチームを立ち上げた。 得。千船病院に戻ると、さっそく上司に そして、 2 0 0 9 年、 認定看護師を取

和ケアに関する困りごとを拾っていった。 に関することだった。痛みを和らげる薬 師に認知されないと依頼も来ない。 なかったこともあり、院内でもチームのに緩和ケアに取り組む急性期病院が多く 医長の2人だけ。 当時は現在ほど積極的 は各診療科へのラウンドから始めて、 存在は知られていなかった。医師や看護 現場で主に困っていたのは医療用麻薬 ムと言っても、最初は岩本と外科 まず 緩

て、医療用麻薬以外の相談も増えていく。 「患者の辛さをやわらげるマッサージ方 緩和ケアチー ムの存在が知られるにつれ

ぽつりと相談が舞い込み始めた。 極めが難しく、緩和ケアチー

法を教えて欲しい」

てもらうにはどんなメニューがいい 「食が細くなっても食の楽しみを味わ

ればいいか」 「在宅でケアしたい場合、 家族はどう

なった。 2年目にはほぼ現在と同じ職種構成に めた。メンバーは替わっているものの、 などに働きかけてチー ストや管理栄養士、 じた岩本は、リハビリテーションセラピ より専門的な知識や技術が必要だと感 ソーシャルワ ムの多職種化を進 ーカー

と実感できるようになるまで、 めたのだ。 話を聞いてほしい」という依頼が増え始 的に辛そうな患者さんがいるので、 「がんの告知に同席してほしい」「精神 チームが院内で頼られる存在になった 0年前後を要した。 医師や看護師から 発足から 度

解したかどうかを確認する。 け、患者に寄り添い、内容をきちんと理 そこで岩本は医師からバトンタッチを受 では受け止められない患者がほとんどだ。 を使いながら丁寧に説明するが、その場 択肢を患者に伝える。医師は書面や画像 がんと診断されると、 医師が治療の選

いう思いがあるからだ。
秒が大事。私とは時間の重みが違う」と ている。「患者さんは一日一日、一分一 いてもすぐ駆けつけることを自分に課し 医師から連絡があると、岩本は何を置

いた患者さんが面談室で『何がんやった 「告知のときは、『うんうん』と聞いて

ームの他職種につないでいます」 ムの立ち上げから13年。院内で

がかりや困りごとを確認して、緩和ケア

してもらうことが私の役目。その後、

気

をするのは難しい。まずは感情を吐き出

ります。

そうした状態で治療の意思決定

患者さんがいきなり泣き崩れることもあ かな?』と尋ねたり、落ち着いて見えた

ての成長も感じている。 認知が高まっただけでなく、 チームとし

の情報を集結して患者さんを知ろうとす 船病院緩和ケアチームの強みは、みんな イフレビューを知ることが大切です。千のような人生を送ってきたのかというラ ることに一生懸命なことだと思います」 「患者さんに合ったケアをするには、 岩本自身の成長はどうだろうか。

のように問うと、岩本は少し考えて答え 後輩を看取り、自分の力不足に悔しい思 いをした日々から何か変わったのか。そ

りがとうなんて今まで言ったことないけ ら少しずつ前を向いていかれます。『が とはまた違うんです。がんと診断されて になりましたね。生きる力って、生命力 しゃる患者さんもいれば、『奥さんにあ んになったからあなたに会えた』とおっ 「患者さんの生きる力を信じられるよう くない人なんていません。そんな中か 言うとくわ。最期くらいいい夫でお

> た。がんになっても新しく関係性を築い 教わって私自身も勇気をもらいました」 たり、精神的に成長し続けられる。そう らんとな』とおっしゃった患者さんもい

見るまで死なれへん」 「娘のウェディング姿を

岩本だが、 だろう。 に長いのはリハビリ 緩和ケアチ はリハビリテーション科の竹井患者と接する時間が岩本以上 ムの中心は認定看護師の

病院は急性期。戸惑いは大きかった。 の勤務と訪問リハビリを経験。 の患者は回復期や生活期だったが、千船 年に千船病院へ異動した。異動前の病院 ハビリ 理学療法士の資格取得後、 ション病院で回復期病棟で まず愛仁会 2 0 2 1

から「緩和ケアチー まっていて、竹井は候補の1人だった。 ため他にも研修を受けさせる方針が決 法士は、その上司1人のみ。体制強化の 時、緩和ケアの研修を受講済みの理学療 した異動」と告げられていたからだ。当 ます。リスク管理が難しいと思いました」 し動いただけで血圧が下がる場合もあり としたことで容態が急変しかねない。 定しています。 戸惑いの理由はもう1つあった。上司

「回復期や生活期の患者さんは病状が安 しかし、急性期はちょっ 少 仕事です」

「自分にできるんやろうかと不安でし ムへの参加を前提と

肉が凝りやすいんです。そこを で呼吸をするので、首や肩の筋 行きたい」と頑張る患者もいる マッサージするだけでも楽にな やはり緩和がテーマになる。 る。たとえば「トイレは自分で ビリに求めるものが大きく異な 緩和ケアでは患者によってリ リハビリと違う点が多かった。 てみると、緩和ケアは回復期の 担うようになった。 る。これも理学療法士の大事な 「息苦しさのある患者さんは肩 ことを拒む患者もいる。後者は、 い。もう楽にさせてや」と動く 一方で、「もう頑張るのはしんど 夏に研修を受け、緩和ケア ームの一員としてリハビリ 実際にやっ

会話できる相手だった。 療法士は患者にとってもっともゆっくり コロナ禍で家族の面会が難しい中、 リハビリは1回20 40分。 理学

が癒しになるんでしょうね。 方から、『もうすぐ娘の結婚式。ウェディ いろです。どちらにしても話をすること たら家族に迷惑かける』と不安を漏らす ん』と希望を語る方まで、ほんまにいろ 『ほんまに家に帰れるんかな』『家に帰っ 「みなさんいろいろ話してくださいます レス姿を見るまで絶対に死なれへ 『竹井さん

> が来てくれるから抗がん剤も頑張れる』 うれしくなります」 と言われると、私でも役に立てたんやと

がもたらした情報だった。 を食べたい」という患者の希望も、竹井 る。冒頭に紹介した「KYKのとんかつ 患者から聞いた情報はチー ムで共有す

ら収集することもある。 逆にリハビリに必要な情報をチー ムか

病院1階)のお菓子が食べたいという患 「病院食は薄味だから、ローソン(千船



て確認を取りました」
すぐにチームの管理栄養士さんに電話していいものといけないものがあるから、てがいまのがいました。自分で買いものにい

千船病院は急性期病院であり、治癒するにせよ終末期に向かうにせよ、多くのるにせよ終末期に向かうにせよ、多くの患者はいずれ次のステップに進んでいく。から様子を知らせてくれる患者もいる。がら様子を知らせてくれる患者もいる。が、での病院に移られた患者さんから、私がたことがありました。名前を覚えてくれていたこともうれしかったですが、それていたこともうれしかったですが、それていたことがうれしかったですが、それていたことがうれしくて。理学療法士冥なったことがうれしくて。理学療法士冥利に尽きますね」

緩和ケアがレベルアップ経験豊富な医師の参加で

長の竹嶋だ。 験豊富な援軍が加わった。呼吸器内科部 いると1年4月、緩和ケアチームに経

「急性期の診察が多忙で、余裕がありまいとして緩和ケアチームが運営されておいとして緩和ケアチームが運営されておいる。当時の勤務先では呼吸器内科を中年目。当時の勤務先では呼吸器内科を中に

担でした」担でした」担でした。また、当時はチーム医療が

を重ねる中で見方が変わっていく。しかし、その後、がん患者の治療経験

爰和ケアの大切さこ式づいて、爰和ケアの大切さこ式づいて、爰和ケを知を亡くしたり、自分ががんになったときのことを考えるようになって、がんという病気を治すことだけでなく、人生をりました。あと絶対に苦しんで死にたくりました。あと絶対に苦しんで死にたくないなあって思って……」

緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケアの大切さに気づいて、急性期病活かしたいという思いも強く、急性期病に加わったのは、「急性期医療の中で緩に加わったのは、「急性期医療の中で緩和治療に関わるほうがスキルを活かしたのは、「急性期と療の中で緩の上で、緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケアの大切さに気づいて、緩和ケア病域の大切さに気づいて、緩和ケア病域の大切さに気づいて、緩和ケア病域の大切さに気があった。

では、 で温かく意見も出しやすい雰囲気です。 で温かく意見も出しやすい雰囲気です。 で温かく意見も出しやすい雰囲気です。 を師である私がチームに貢献できることがあるとしたら、苦痛や痛みの原因を診 があるとしたら、苦痛や痛みの原因を診 があるとしたら、苦痛や痛みの原因を診 があるとしたら、苦痛や痛みの原因を診 があるとしたら、苦痛や痛みの原因を診 があるとしたら、苦痛や痛みの原因を診 があるとしたら、苦痛や痛みの原因を診 があるとしたら、苦痛や痛みの原因を診

実際、竹嶋の加入以降、千船病院の緩

和ケアはレベルアップしているわけではれた。静脈注射にも利点はあるが、針が抜た。静脈注射にも利点はあるが、針が抜けると点滴が止まり、再注射が必要になる。それに対して、終末期の緩和ケアでは患者の負担が少ない皮下注射が一般的は患者の負担が少ない皮下注射が必要になる。竹嶋が皮下注射の利点を説明し、状況に応じて使い分けるようになった。

をきる人選別に満長しているおけては ない。急性期と緩和ケア病棟の両方を経 か化して、底上げを図りたいです。緩和 が使えに、目指す理想は高い りません。急性期病院にこそ緩和治療に りません。急性期のできるようマニュア りません。急性期のできるようマニュア のません。急性期のできるようマニュア のません。急性期のできるようマニュア のません。急性期と緩和ケア病棟の両方を経 ができるようマニュア のません。急性期と緩和ケア病棟の両方を経 りません。急性期と緩和ケア病棟の両方を経 りません。急性期と緩和ケア病棟の両方を経 りません。急性期と緩和ケア病棟の両方を経 りません。急性期と緩和ケア病棟の両方を経 りません。急性期と緩和ケア病棟の両方を経 りません。急性期と緩和ケア病棟ができるようではあ りません。急性期と緩和ケア病棟ができるようではあ りません。急性期と緩和ケア病棟ができるようマニュア

、私は緩和ケアチームの面々は和

気藹々とケアについて話し合っていたと表調なの連続だったことがわかる。それら迷いの連続だったことがわかる。それらの苦悩を乗り越えた末の笑顔なのかと

定する。ところが岩本は、それをやんわりと否

「今も毎日、あれで良かったんかな、ものと悩んでます。緩和ケアに正解はないから、チームのみんなや病棟の看護師たちも、永遠に悩み続けると思います。ただ、も、永遠に悩み続けると思います。ただ、も、永遠に悩み続けると思います。そう伝えてます」







選択肢を地域の人々に。腎臓移植という人生を変える

12

り、腎センターを率いる樋口喜英だ。医師がいる。千船病院の泌尿器科主任部長であし、そんな〝常識〟を変えようと奮闘している透析)。そんなイメージはないだろうか。しか野臓が悪くなったら、人工透析治療(以下、

り、とその後の人生に大きく関わるのです」
は免れず、透析のみならず食事や運動などの厳は免れず、透析のみならず食事や運動などの厳は免れず、透析のみならず食事や運動などの厳なったり、小児であれば成長に支障をきたしたなったり、小児であれば成長に支障をきたしたなったり、小児であれば成長に支障をきたしたなったり、とその後の人生に大きく関わるのです」

代に見た患者の変化だ。

代に見た患者の変化だ。

(代に見た患者の変化だ。

(代に見た患者の変化だ。

(代に見た患者の変化だ。

(代に見た患者の変化だ。

(代に見た患者の変化だ。

(代に見た患者の変化だ。

わったそうです」
「20代の女性の腎臓移植手術に立ち会ったと「20代の女性の腎臓移植手術に立ち会ったと「20代の女性の腎臓移植手術に立ち会ったと「20代の女性の腎臓移植手術に立ち会ったと

、大学病院では、小児泌尿器手術で経験を積このときの光景が忘れられず泌尿器科医とな

らない患者が多かった。腎臓移植という選択肢が身近にあることすら知なった。2014年、千船病院へ来てみると、むとともに、腹腔鏡技術認定医、移植認定医と

です」
にも移植の選択肢が提示されないことが多いのも一般的ではないため、医師であっても移植の経験や知識がある人は少ない。当然、患者さんにも移植の選択肢が提示されないことが多いのにも移植のドナーが少なく腎臓移植

2016年、千船病院で1例目の「生体腎移植」が行われた。生体腎移植とは、患者の親族 情」が行われた。生体腎移植とは、患者の親族 医などの仲間とともに「腎センター」を設立した。 「腎臓を悪くした患者さんに対して地域の病院 「腎臓を悪くした患者さんに対して地域の病院 「腎臓を悪くした患者さんに対して地域の病院 「腎臓を悪くした患者さんに対して地域の病院 本当に適した治療を、地域に根ざして行いたい 本当に適した治療を、地域に根ざして行いたい のです」

調する。そのためにはチームが必要であると樋口は強

から、腎臓移植の話ができるのです」す)シャント血管の治療を共に行う臨床工学技脈に縫い合わせて繋ぎ、動脈血を直接静脈に流脈を覚い合わせて繋ぎ、動脈血を直接静脈に流脈に発い合わせて繋ぎ、動脈血を直接静脈に流

取材・文 今中有紀 写真 奥田真也

13



診療情報管理室 システム担当・主任

段野香 描

けではない。

常にポジティブな

「縁の下の力持ち」

している。

連の他、 えて たりと、 たり、 療情報担当者もなくてはならない存在だ。 段野香苗もそのひとり。情報システム関 など、院内の情報インフラ全般を担う診 いる。 部門横断の複数の委員会で活動し さまざまな面から病院運営を支 病院運営に関する情報を管理し

一般企業以上にバラバラだ。 病院で働く人々のー

細かくフォローするようにしています」 度に合わせて伝え方を変えたりと、 て個別にレクチャ 聞こえてきます。その気持ちを受け止め 際など、現場では んな操作せなあかんの?〟と戸惑う声が

病院を支えているのは医師や看護師だ

診療に欠かせない電子カルテ

リテラシーは、

「新しいシステムの導入や運用が変わる "また変わったん?そ したり、個々の理解

はぐっと減りますから」 を待たせなくてすむし、現場のストレス なことですけど、これだけでも患者さん だから、日頃からまず電源コードを確認 そのほとんどは、電源コードがモニター ンモニターが突然映らなくなるトラブル。 してくださいね、と伝えています。単純 から外れているだけのことが多いんです。 「よくあるのが診察の際に医師のパソコ

法も積極的に伝える。 グな仕事に時間をとられているスタッフ に対して効率的な情報システムの活用方

ポジティブな発信も忘れない。アナロ

る。

の経営を学ぶために大学院にも通ってい の資格を2つ取得。さらに現在、医療系

ることも大切にしています」 「相談されてこそ解決策を提示できるの 普段から相談しやすい雰囲気をつく

で、

能な魔法ではない。制限がある中でもいことも増えてきたという。システムは万 かに実現できるかを考え、願いを叶えら んなこともできるかな?」と相談される これらの活動が功を奏し、最近では「こ

また、日々の〝草の根活動〟も大切に

愛仁会に転職してから、「基本情報技術 だけでなく、自身のインプットも怠らな 者試験」、「医療情報技師」という情報系 い。一般企業から千船病院の母体である 与するはずだ。 も増える。間接的に、医療の質向上に寄 の医師や看護師が患者に向き合える時間 務作業などの時間を短縮できれば、現場 れるよう奮闘する。システムによって事 そんな段野は情報をアウトプットする

きる知識をしっかり身につけたいです」 の通学で大変ですが、病院をより良くで を決めました。平日の業務終了後や休日 「上司からすすめられ、 前向きに働き学ぶ段野は、これからの 迷わず通うこと

千船病院をさらにアップデー させるは



年齢や病状によって 治療を区切ることはできない。 関節を長い期間で診るために センターを立ち上げた。

関節とは骨と骨が可動的に結合している部分を指す。緩衝材のよ りすり減り、痛みが出る。これが関節痛である。軟骨は「自己再 生能力」がない。つまり、1度すり減ると元に戻ることはない。

関節センター

取材・文 田崎健太

ジルブックストア」を運営。

写真 奥田真也

が高校生のときだった。 阪神淡路大震災が起きたのは、鄭克真

父親と診療所に様子を見に行くと半壊状 害が大きかった地区である。震災の直後、 科医院を営んでいた。須磨区は震災の被 れている。父親は神戸市須磨区で整形外 鄭は1977年に兵庫県神戸市で生ま

る人、

態になっていた。

科に入学。 996年、川崎医科大学医学部医学 整形外科を選んだのは父親と

そんな父親が心血を注いでいた診療所として)あっぱれだと思っていました」

してましたね。子ども

心ながら、

(医師

く頓着していないようだった。 こみ上げてきた。しかし、隣の父親は全 の惨状を目の当たりにして鄭は悲しみが

そのときだ。 その姿を見て、格好いいと思いましたね」 「早く診療所を開けて、周りで困ってい 父親と同じ道を進むことを決めたのは 怪我人を助けないといけないって

もあった。

こからちゃんと勉強しないといかんな ごせるだろうって考えていたんです。 て……どうやったら勉強しないでやり過 「それまでは言われた通りに学校に行っ

生のときでした。とにかく仕事にひたむ

夏のお盆とか正月以外は休まな どれだけ体調が悪かろうが診察

「父親が開業したのはぼくが小学校2年

形外科へ入局してからのことだ。 2002年、神戸大学医学部附属病院整 学部に入ったときは、6年間、 た。その状況が一転するのは、卒業後の 国家試験はありますけど、講義を受け 医者になるんだという軽い感じ」

分が何も知らないことを突きつけ 修医制度というのがなくて、 込んで、必死で読んでいましたね」 の日なんかは山ほど医学書を持ち なるんです。実地で経験しながら られる。これはあかんという風に の患者さんを目の前にすると、 じことをしないといけない。生身 です。それで何十年目の先生と同 あんたお医者さんって言われるん もう勉強、勉強。(病院に)当直 して国家試験に通ったら、はい、 勤務先として神戸大学医学部附 卒業

ともあった。整形外科は身近な診療科で 学生から高校生までバスケットボ 同じ土俵に立ちたかったからだ。鄭は中 ルで両足骨折し、父親の治療を受けたこ 大学生時代にラグビーとスポーツに親し んでいた。中学生のときバスケットボー

「みんなそうだと思うんですけれど、 という感じですよと鼻で笑っ 医学を学

冷たくあしらわれるだろうなと思ってい 医局に残る恩(義)があるなと思ったん すごい教育をしてくれたんです。これは てくれたって優しく受け入れてもらった。 ました。ところが入ってみると、よく来 し、ぼくはいわば、外様、 じゃないですか

さも痛感した。 同時に、スポーツドクターの難しさ厳し らと接することで刺激を受けた。しかし 大学病院ではプロ野球選手の治療を担当 学大学院博士課程に入学した。この頃、 さらに4年目の2006年 部附属病院の関連病院を回ることになる。 したこともある。勝負の世界で生きる彼 整形外科専門医の資格を取得するまで ほぼ1年ごとに神戸大学医学 4月、神戸大

「ぼくたちの時代は今みたいな研

考えていました。神戸大学は国立大学だ 父親の診療所を継ぐんだろうなと朧気に 科医の)専門医などの資格を取ったら、 「そのときは(実地経験を積んで整形外

ことは大変だと身に染みました」 「トップレベルの選手の治療を担当する 人工関節手術と出会ったのはそんなと

きだった。

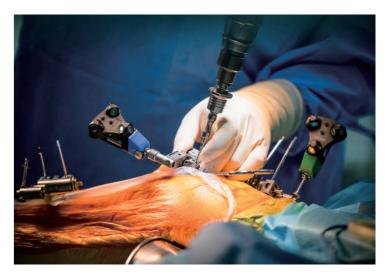
関節センターという名前をつけま 関節を長い期間で診たい。それで 関節とは骨と骨が可動的に結合してい

学の世界でその名が知られていた

属病院を選んだのは、スポーツ医







の関節痛である。これが膝痛などぶつかると痛みが出る。これが膝痛などがる。加齢、あるいは運動などの使いすがる。加齢、あるいは運動などの使いすかると痛みが出る。これが膝痛などの関節痛である。

「そもそも江戸時代ぐらいまでは寿命が50歳ぐらいでした。医学の力で寿命が50年ぐらいで一区切りになるんです。50代以降の方の半分ぐらい、2人に1人は軟骨がすり減っていると考えてもい人は軟骨がすり減っていると考えてもい

軟骨は「自己再生能力のない」組織で

戻ることはない。ある。そのため、すり減った軟骨が元に

「寿命が延びれば延びるほど関節の問題「寿命が延びれば延びるほど関節の目が多い。 人工関節の手術を受けるのが出て来る。人工関節の手術を受けるのが出て来る。人工関節の手術を受けるのが出て来る。人工関節の手術を受けるの

が浮かんできた。ある時鄭の頭に同居していた祖母の顔

2011年から約2年間、ポーランドばあちゃんに寄り添ってあげたいなと」はかけるときは必ず手を添えるという役出かけるときは必ず手を添えるという役は中学生ぐらいのときから、祖母がばあちゃんに寄り添ってあげたいなと」

「整形外科で関節の先生は大きく、内視 鏡の治療が出来る先生、人工関節(手術) 鏡の治療で手に負えなくなったら人工関 節の手術となる。でもこの時期までは内 視鏡、ここからは人工関節って、膝の人 生を2つに区切ることはできないじゃな いですか。一生涯の膝を診るためには両 方やれたほうがいい」

千船病院に赴任した後、「人工関節センター」を立ち上げないかと誘われた。「ぼくは内視鏡手術のスキルも持たせてもらっているので、、人工、という名前をあえて付けたくないって言ったんです。をあえて付けたくないって言ったんです。という名前をから治療だけでなく、関節をしいう名前をつけました」

そして2022年4月から、鄭の右腕とる関節センターが始動した。2015年4月、鄭をセンター長とす

いる。原田義文だ。も言える医師が関節センターに加わっても言える医師が関節センターに加わってそして2022年4月から、鄭の右腕と

形外科の開業医だった。子どもの頃は医県芦屋市で生まれた。原田の父もまた整県

んです」
生ぐらいまでは考古学者になりたかった生ぐらいまでは考古学者になりたかったいう。

考古学者として研究を進めるには、資金集めも必要になる。まずは医師になって足場を固めてはどうかと父と教師から勧められ医学部を目指すことにした。入学したのは九州の宮崎医科大学(現・宮学した空気は性に合っており、卒業後もとした空気は性に合っており、卒業後もとした空気は性に合っており、卒業後もが体調を崩したこともあり、実家に近いが体調を崩したこともあり、実家に近い神戸大学医学部附属病院に入ることにした。

「(卒業年度の) 大学6年までラグビ



単位で募集しているんで」かったんです。大学病院ならば100人かったんです。大学病院ならば100人やっていたんで、選択肢があんまりな

けたんですよ、と笑う。
そこならば落ちへんやろうと思って受望化で募集しているとで、

ないんです。だから、無難に戻れるとこ「そんなに自分に自信があるタイプでは

ろを選んだという感じです」 が述のように神戸大学医学部附属病院、 はスポーツ医学が強い。原田も高槻病院、 神戸医療センターなどを回りながら、ラ がビーチームなどのスポーツドクターを

「スポーツ選手って身体でご飯食べては

た」です。神経質と言えるぐらいまで気に掛めてこだわるのはすごいなと思いましまので、ちょっとしたことが気になるん

する。すっと治癒した患者のことよりも、原田は自らを「ネガティブな人間」と称

とばかり頭に残るという。思ったように治療できなかった患者のこ

「(整形外科の)専門医を取得する過程でいいだろうというのが全く通用しないでいいだろうというのが全く通用しないで、首から足まで担当する中で、なんかで、音から足まで担当する中で、なんか

手の動きは非常に緻密である。

程度しかいない。
程度しかいない。
程度しかいない。

です」ですいる患者さんがいれば、「困っている患者さんがいれば、

らいで繋ぎます。でも縫合したら終わりもある。作業中に誤って、指を切断したでいく。指1本ならばだいたい2時間ぐでいく。指1本ならばだいたい2時間ぐがのがる。作業中に誤って、指を切断した



千船病院では 「ストリートメディカル | 実践中!



ストリートメディカルとは何か-それは「Happy (幸福) を感じながら自然と健康になるよう促す ことや、病院を生活の場としてアートやデザインな どを取り入れながら「Happy(幸福)」を感じ取っ てもらえるような場にすることです。

千船病院を少しでも落ち着く場にできるように 少しでも Happy を感じてもらえるように心がほっ と「いっぷく」できる環境づくりを行うプロジェ クト「いっぷくプロジェクト」として実行してま いりました。第1弾となった「いっぷく相談室| では相談室に世界の名画を飾って不安やストレス が軽減されるか検証しています。

また季節のイベントに合わせた「いっぷく七夕」 「いっぷくクリスマス」も実施。病院の待ち時間 を少しでも楽しくする参加型アートを実装し、多 くの人にまたやって欲しいというお声をいただき ました。

また、現在問題になっている「サルコペニア」 を啓発する取り組みも行いました。サルコペニア とは加齢に伴い筋力量が減り、病気の重症化や介 護が必要になるリスクが増加すること。今後高齢 化が進む中でいかに筋肉量の低下を防ぎ、健康寿 命を延伸していくかが課題となります。

楽しみながらサルコペニアを意識してもらうた め、横浜市立大学先端医科学研究センターコミュ ニケーションデザインセンター (YCU-CDC) と 協力し「さるコペニア」の配布を始めました。こ れは、ふくらはぎの太さをその場で測れる(さる が足に絡みつく) ようになっています。

さらに---。

東京藝術大学と認知症アプリを開発中です。こ れは認知症課題を汎用したアプリにすることで日 常からゲームを通して楽しく認知症の啓蒙や早期 発見に繋げていくことが目的です。これは2022 年10月22日にあった西淀川区健康いきいき展の 「認知症ブース」に出展、区民の方に体験しても らいました。現在、これらのデータを集めてアプ リの有用性を検証しています。

最後に地域に関する取り組みとしては「イネー ブリングシティ西淀川区プロジェクト」として 2025 年大阪・関西万博、TEAM EXPO2025 共創 チャレンジに登録して活動しています(https:// team.expo2025.or.jp/ja/challenge/785)。 今 後も千船病院のストリートメディカルの試みにご 注目ください。

「日々の生活で、 人の必要性によっても差がある。 千船病院の整形外科には鄭、 どこまでリハビリ そんなに細かい作業を あるいは裁縫する を行うかは個 こそ、 いる。

ら出来ることだと、 絶対に機械ではできない、 げられるのか、 探りなが 原田は言う 人間の手だか である

が縮んでしまうこともありますし、

血管

いんです。

大変なのは術後

血管

の中に血栓という血の塊が出来て詰まっ

いんです」 をどこまでやるかを決めなければならな 趣味も含めたライフスタイルでリハビリ プラモデルを作るとかいう人は徹底的に 趣味でピアノを弾く、 痛ですよね。 しない人が何ヶ月もリハビリするのは苦 しないといけない。仕事だけじゃなくて 一方、音楽家ではなくとも

ので、

看護師を含めたスタッフの協力が

術後は24時間観察しない

いけな

必要なんですと付け加えた。

そして機能回復-

リハビリテー

ショ

ンも重要だ。

「手の場合、

リハビリが長くなります。

悪かったらすぐに再手術しなければなら

てしまうこともあります。

患部の色味が

てることだからだ。 スキーを飲みながらプラモデルを組み立 彼の数少ない趣味が、お気に入りのウィ プラモデルと原田がわざわざ言うのは

て曲げたり」

自分の手に神経を集中させ、

げられないのを、

ぼくがぐっと引っ張っ

の手をとにかく触ります。 もいます。ぼくも診療のとき、

自分の力で曲 患者さん なくて、半年、

年単位でやられている方

- ヶ月で終わるというケースはほとんど

とになる。 外科医が24時間対応する体制をとって 地域の医療を守るという思いから、整形 いる。週に必ず最低1回は当直をするこ 田を含めて5人の医師が所属している。

う体制は楽ではない。 かないという と向き合う至福の時間は年に2度程度し ない。さらに受験を控えた家族への気遣 いもある。そのため、 24時間、 そうした日はアルコールを口に出来 整形外科医が対応すると 原田がプラモデル

原田は考えている。

地元の病院や診療所への挨拶回りをして まず診ようという

して大切。 をもたないとあかんと思うんです。 なんぼでもヒットするような時代だから 先生から信頼されることも急性期病院と 対応してくれると地域の病院や開業医 1回程度、 「千船病院に紹介すれば、 顔見て、会って話してという機会 向こうの先生からしたらう インタ ーネットで調べたら、 誠意をもって 週に

のがうちの方針です」 に関する分野ならば、 る理由を鄭はこう説明する。 「困っている患者さんがいて、整形外科 鄭は原田と共に空き時間を見つけて、 それでも敢えてや

ませんけど、会いに行っています」 とうしいなぁって思われているかもしれ 急の際に出勤できるよう待機する日があ 当直の他、 シコー

庫県尼崎市の病院や開業医が中心である じゃないですか」 先生、どんな先生なんやろって気になる いつも(患者を)紹介してもらっている んで、外出るのは気分転換になるんです 「ぼくら医者はずっと病院の中にいてる

を思いつき実行していく、動く としているだけです」という。 て、鄭先生がわっと喋って、 原田によると、「ぼくは名刺だけ出 の自分の組み合わせは悪くないと 横でにこっ 次々企画 の鄭と、

る。



文

21





多職種カンファレンス。千船病院は急性期病院。回 復期に入った患者さんは次の医療機関に移っていた だきます。今後の治療方針、退院後の注意事項など の確認。患者さんに「生活習慣」の大切さを理解し てもらうことに心を砕きます。





患者さんの夕食は 18 時から。食事前の血糖測定。 夜勤の看護師が来るので引き継ぎ作業。



本日の業務終了。お疲れ様でした。 勤務が終わると1人暮らしの家に直行。簡単にご飯 を作って食事。あまり出かけず、家でゆっくり過ご すのが田中流。明日も頑張りましょう!



手が空いたとき、患者さんの容体が急変したときに 使用する「救急カート」を確認。最低1日1回は チェック。特殊な器具もあり、最初はなかなか田中 さんも慣れなかったそうです。





看護師だけのカンファレンス(会議)で現状、課題を共有。勤務している病棟の看護師は全員集合。必要に応じて医師、栄養士が加わります。患者さんの治療方針などを30分ほど議論することも。田中さんはまだ聞いていることが多いそう。



午前中に出来なかった清潔ケア。ずっと寝ている患者さんに褥瘡(床ずれ)が出来ていないかを確認して回ります。洗髪もこの時間に行います。患者さんを車椅子に乗せて、洗い場へ。ベッドを動かしたりする動線確保が結構大変。





食後、病棟内の部屋で休憩。休憩室にはみんなが買ってきたおやつなども常備(すぐになくなるそう!)。 自分のスマホでLINEを確認したり、ゆっくりと 過ごします。休憩室には各自のロッカーがあり、今 年の個人目標などを貼って、やる気を高めてます。





午後の早い時間は、食後にトイレに行きたいという 患者さんも多く、ナースコールが増えます。看護師 が交代で休みに入っているため、ちょっとバタバタ。 足腰が弱っていて、利尿薬を服用している患者さん も少なくないので、トイレへの付き添い、見まもり は大切!



情報入力の続き。清潔ケアの際、感じた患者さんの 皮膚の状態などの情報は他の看護師と共有。スマホ 世代の田中さん、キーボード入力が苦手。パソコン を使うのは仕事だけ!





昼食前の大事な仕事が「内服確認」。患者さんの処 方箋を確認して、食前、食後に飲む薬を整理。日に よって薬の種類が変わっていることもあるので、細 心の注意が必要。2人の看護師でダブルチェックが 其本



8 東病棟では、1人の看護師が6、7人の患者さん を担当。気がついたことをメモして、先輩看護師と 情報共有。先輩の経験が助けになります。



9階にのる職員良宝でわ昼こ取。 たいたい口管わり 定食を注文。好物は丼もの!卵丼があれば迷わず注 文するそう。





8 東病棟は38床。朝から検査を受ける患者さんもいます。そのときは清潔ケアを中断して、検査室まで案内。





水色の制服を着ているのは看護助手、ベトナムから インターンシップで来ているガンさん。勉強熱心で 優秀なガンさんとは日本語でコミュニケーション。 病院にとっては貴重な戦力です。ベトナムの文化、 日常生活について教えてもらうこともあるそう。



╲ 勤務前から終業まで ╱

駆け出し看護師の一日を

「密着撮」

今日の田中さんは「遅出」の日。通常は7時45分には病院に到着。千船病院の前を走る阪神電車、朝は通動ラッシュで踏切がなかなか開かないので、余裕を持って出かけています。



病院の人たちに挨拶して更衣室へ。制服に着替える と、身も心も引き締まります。





動務スタート。田中さんの働く「8東病棟」は循環器、呼吸器内科、脳神経外科。まずは、看護助手と、入院患者さんの身体を拭いたり、シャワー、着替えのお手伝いなど。千船病院では「清潔ケア」と呼んでます。

23

麻酔科

取材・文 田崎健太 写真 奥田真也

くいことを話せる相手でありたいと考え 「患者さんから聞いたことをワンクッ いる。 それでも坂東は 患者の食事

りのがん治療を終え退院したとき、自分 の体を支えるのも大変な状態だったとい つかり、別の病院に入院したのだ。一通 から消えた時期がある。自身にがんが見 するのも大切な役目だと考えています」 ションおいて先生や看護師さんに橋渡し 皆から頼られる坂東の姿が、千船病院

ちぶね~ぜ



かせ、

から、

ちゃいけないなと」

「完全防御ともいえる防御服を着るのだ

さん助けてくれた同じ病棟のメンバー

一緒に戦いたいと思った。私だけ逃げ

麻酔科医の「専門性」、 周麻酔期看護師の「存在価値」

ペインクリニック、産科、小児、心臓――麻酔科医に専門性が要 求されるようになっている。千船病院で力を入れているのは「産 科麻酔」。専門性の深化と共に、麻酔科医が手掛ける分野も広がっ ている。そのため麻酔科医は慢性的に人不足なのだ。麻酔科医不 足の解決策として注目されているのが、周麻酔期看護師である。 千船病院の麻酔科の奮闘を追った。



優しくて強い千船病院の

「私たちは患者さんのお助けマンです

いる。さらには、ヘルパーの年度毎研修介助やシャワー浴の補助などに役立てて 患者にとって医師や看護師に言いだしに でケア知識をブラッシュアップ、気持ち 患者の介助や身の回りの世話を行う。 医療行為は行わず、 役割をそう紹介する。坂東ら看護助手は な資格は必要がない。 ありたいと思っています」 者にとっては最も身近な存在ともいえる。 東眞由美は、入院したての患者に自身の 「闘病している患者さんたちの癒やしで 実は看護師と違って看護助手には特別 いい洗髪方法を理容師の息子に学んだ ムヘルパー2級を取得、 常に技術向上を怠らない。さらに、 患

選んだ。

「不安がなかったと言ったら嘘になりま

でも、私の入院中やその前後にたく

の病棟に移ったら?」と心配したという ん治療から復帰したばかり。周囲は「別

しかし、坂東はコロナ病棟で働くことを

ても怯んだものだ。 スに関する情報はなく、

ましてや、

坂東はが

健康な者であっ

ことになった。当時、新型コロナウイル 坂東の所属病棟が感染患者を受け入れる 直した。ところが、職場復帰後しばらく う。まず復帰のために自転車で体を鍛え

坂東のバイタリティの源は何なのだろう。 らってるんですよ」 て言ってくれる患者さんにパワーをも ちかな。あと、、坂東さんじゃなきゃ〟っ 後の再雇用を視野に入れている。そんな いきや「まだまだ現役でいたい」と定年 年迎える定年でやっと一息つくのかと思 者と向き合う日々は3年続いている。 「私がやらんと誰がやるねん、って気持 戦場のような職場でひたむきに患 最も安全なはず」と自分に言い聞 来

阪神電車なんば線を乗り継いで福駅で降 る。名古屋駅から新幹線に乗り新大阪駅 へ。通勤客で混み合い始めた大阪環状線 朝5時に起床。2人の子どもの準備を 千船病院には8時前に到着する。 6時前に名古屋市内の自宅を出

は人混みに圧倒されました」 環状線がすごく混んでいるんです。最初 「大阪は都会すぎてびっくりしました。

村松は明るく笑う。 うになりました、というのは冗談ですと 最近は押しのけて座ることが出来るよ

は就寝する。 おいた夕食を作る。食後、 時過ぎに自宅に戻り、 院を飛び出して、早足で福駅へ。 ノの練習に1時間付き合い、 夕方5時に勤務が終わると、 トフォンで新幹線を予約。 前夜から準備して 子どものピア 10時頃に すぐに病 車内か 夜 7

日送っている。 2022年4月からこんな生活を週3

働き方は絶対に無理でしたね」 当に5時ぴったりで送り出してもらって 週3日になりました。(就業時間も)本 は)、大丈夫かとか気を遣ってくださり 千船病院のみなさんが子ども(の世話 います。職場の協力がなかったら、この 「最初は週4日勤務でした。そうしたら

ごく自然に名古屋市立大学医学部に進ん 村松は父親が医師だったこともあり、

> 係している。 だ。麻酔科を選んだのは母校の体制が関

療イコール麻酔科。麻酔科がICU(集 だと考えました。名古屋市大では集中治 中治療室)を全部みていたんです」 です。そのために集中治療を習得すべき 「患者さんの全身管理がやりたかったん

症患者を収容、集中的な治療を行う。 モニターや記録装置を備えた病室で、重 集中治療室とは人工呼吸器の他、各種

て、 治療というのは、患者さんの痛みを取っ するのは理にかなっていると思っていま 者の麻酔がすごく長く続くという感じで 「ざっくりした説明をするならば、 長時間全身管理するんです。重症患 だから麻酔科がICUを管轄、管理 集中

麻酔科の中で専門分野

サブスペ

中治療専門医の資格を取得。 母校の大学病院などで働き、 次に頭に浮 村松は集

> 後の)大量出血で、心臓マッサ ながら運ばれたお母さんもいました」 た患者さんを診る機会もありました。(産 した。その中で産後に重篤な状態となっ 赤ちゃんのどちらも助けなければならな かんだのが、産科麻酔だった。 い周産期の患者さんの特殊性を痛感しま 「集中治療をやっていると、お母さんと ージをし

やっぱり麻酔には専門性があるんだと思 いました」 「彼女の知識量と技術は並外れていた。 名古屋市立大学附属病院で働いていた 産科麻酔を学んできた先輩がいた。

科」である。 シャリティ、 ンクリニック」「心臓」「小児」そして「産 とされているのが、「ペイ

の安全を考えなければならないことに加 「産科麻酔の難しさは、母体と赤ちゃ



ています」 官になるのは麻酔科医であるべきと考え 婦の)全身管理をしてコマンダー、指揮 数によって扱いが変わることです。 取り出すこと、子宮に集中している。 て出血が激烈。産科の先生は赤ちゃんを えて、妊婦さんの基礎疾患、(妊娠)週 そし

が突然急変することもある。 それまで順調であっても、妊婦の様態

思ったんです」 て、 ですよね。だから産科麻酔を学びたいと 「誰がそうなってもおかしくない。そし (患者は) 若い。いわば社会の財産

阪市内でうちよりも3倍ぐらい(出産を) 院の門をたたいた。すると、彼女から「大 扱っている病院で働きたい。まずは旧知 興味があった。なるべく数多くの妊婦を それが千船病院だった。 やっているところがある」と教えられた。 の女性医師がいた大阪大学医学部附属病 麻酔を使用した出産 無痛分娩にも

キャッチャ 「麻酔科の医師は手術における ーのようなもの」

科医だ。 科部長であり、人材開発部長の奥谷龍で ある。奥谷も修羅場をくぐってきた麻酔 村松を受け入れたのは、千船病院麻酔

の末っ子として生まれた。きょうだい仲 奥谷は兵庫県三田市で6人きょうだい

なんかはいいんじゃないかって。ぼく自 だのは、はっきりとした理由があったわ るため兵庫医大に進んだ。麻酔科を選ん 良く助け合えばいいという父親の方針で、 10人ちょっとしかおらんかったと思い ちまちましたことが好きやったんで、 兵庫県で麻酔科医は -医師とな 麻酔科 多いし、すごく重要性が高い。外科みた 必要です。 全部のポジションを俯瞰してみることが がキャッチャー。でもキャッチャーって いに華々しくはないかもしれない。 ていくじゃないですか? やりたい人間がポジションを選んで決め いなもの。少年野球だとピッチャーから きなフィ 「麻酔科の医師というのは手術という大 ールドの中のキャッチャーみた 監督でもキャッチャー

ます。

外科の先生と話したとき、

けではない

「卒業したとき、

誰もなっていなかった職業

運ばれてきた。 る兵庫医科大学病院には次々と怪我人が 線事故が起きた。3次救急医療機関であ にいた2005年4月、

くさん運ばれて来ました」 たんです。次から次へと(怪我人が) 「最初は何が起こったのか分からなかっ

科医も少なくない。奥谷は半分当たって

ーランス』として活動する麻酔

いるけれど、半分違うと言う。

合だ。その中で麻酔科医は、個人主義、

内気で文化系の内科という具

一匹狼であると評される。病院に所属せ

色分けされる。例えば、外向的で体育会

診療科によって医師の性格は大まかに

なってみようと」

深みのある味わいのある科なんです」 最後に残るの 出身が でも 肺停止状態だった。 組織への損傷は最低限で済む。そして、 出すんです」 るかのように押す。 つまり自分の目の前で心臓をマッサ に突き刺さった20代の男性がいた。 かった。その中の1人に肋骨が折れて肺 しながら、肺に突き刺さった肋骨を取り 「胸を切って、心臓を露出させて直視下 リズムをとりながら、 すでに事切れている人間も少なくな

奥谷が兵庫医科大学病院の集中治療室 JR福知山線脱 そうしたら(彼は)フルリカバリー 点滴を打ちながら、 とも非常に深い傷が残ることもあり 「最悪の場合は脳死、そこまでいかなく

た 合わせて107人の死者が出た。彼は 108人目とならなかったのだ。 福知山線脱線事故では乗客と運転士

全回復)されたんです」

ど5つの市立病院を再編、統合。大阪市 市立小児保健センター、市立桃山病院な 阪市政百周年の記念事業の一環で、大阪 市立総合医療センターに移っている。 という役割が与えられた。 の高度急性期医療、小児医療の中核病院 その後、奥谷は2006年からは大阪 大

治療室)で心臓が悪いため手術を要する 赤ちゃんの麻酔にも関わりました」 という病院です。NICU(新生児集中 「新生児から100歳超えの方まで扱う

新生児の麻酔で最も大切なのは、 口か



心臓が動いて

ない。そのため慎重を期する必要がある。 いう。新生児は痛みを訴えることができ ら管を挿入して気道を確保することだと 大阪市立総合医療センターに赴任した

と言う。 とき、奥谷は50歳を超えていた。ぼく の主たる仕事は人を育成することでした、

長けた人は出来る。 するか。やりなさいというと(技術に) て麻酔をつつがなくこなせる医師を育成 分だけできてもあかんのです。どうやっ 取っていくと体力も根気もなくなる。 「自分が出来るというのは当たり前。 その長けた人がやめ



困る。長けた人がいる間に、若い人にど んどん経験を積ませていかなければなら てしまうと誰も出来なくなるというのは

ない。体力的にはもちろん、メンタルも かることもある。ちょっとのミスもでき ちゃんを扱うわけです。手術が3時間掛 心身をすり減らす過酷な現場でもある。 高の経験を積む場になる。同時に激しく が運びこまれる。若手医師にとっては最 総合医療センターにはいわゆる難病患者 「NICUでは(体重が)1キロない赤 大阪市の最後の砦とも言える



た る者拒まず、去る者追わずでやってまし かしてくれればいいじゃないですか。来

材育成の必要性を痛感していた。 月から千船病院で現職に就いている。運 れたのだ。麻酔科医でもある内藤は、 営する愛仁会の内藤嘉之理事長から誘わ 育ったことになる。そして2022年4 多くの件数を受け入れるための麻酔医が 毎年約5 のことを考えていましたよと付け加えた。 奥谷が在籍した期間、麻酔の症例数は 3 6 5 日、 00件増えたという。 ぼくはリクルー それだけ (採用)

「周麻酔期看護師」が必要なのか なぜ麻酔が出来る

が力を入れているのは、 の育成である。 人材開発部長の肩書きも持つ奥谷 周麻酔期看護師

麻酔分野に関す

医師の過重労働を回避する働き方改革、 いる。 け持つ「高度実践看護師」の1つである。 タスクシフティングの鍵を握るとされて 教育や訓練を受け、 る知識と技術を持つ看護師を指す。 医療行為の一部を受 専門

る。 周麻酔期看護師はその1つの解決策とな 社会に入り、緩和ケア、ペインクリニッ 界の喫緊の問題となっていた。超高齢化 が、それを満たす人数がいなかったのだ。 クなどで麻酔科医師の需要は増えていた 数年前から麻酔科医不足は日本医療

船病院で勤務している。 療部麻酔科主任の中谷昌平は週1回、 る。その中の1人、明石医療センター 愛仁会には2人の周麻酔期看護師がい 千

診

学校を卒業後、明石医療センターに入中谷は明石医療センター附属看護専門

学んだ。 科大学大学院周麻酔期看護師教育課程で 2020年4月から2年間、奈良県立医 明石医療センターに籍を置きながら、

した 酔のことをたたき込まれるという日々で こちらに置いて1人暮らし。2年間、 かるので通うことは出来ません。家族を 「(奈良県) 橿原市まで2時間ぐらい 麻

う国家資格が存在しないことだ。 少々厄介なのは、 周麻酔期看護師とい

期看護師の所属が診療部であったり、 護部であったりするのだ。 徴が所属先である。 えることの躊躇があった。その1つの象 看護師側も医療側に踏み込み、責任を抱 領域を侵す存在だと警戒していること。 ない麻酔科医が周麻酔期看護師を自らの これにはいくつか理由がある。少なく 病院によって周麻酔

周麻酔期看護師とは、

ないかと思うんです」 奥谷も同意見だ。

中谷が幸運だったのは、

すでに大学院

す。しかし、例えば麻酔中の患者さんの麻酔科医は麻酔という技術は持っていま いう視点がない。そういうのに気がつく 身体に褥瘡(床ずれ)が出来るとかそう 「医療と看護は似ているようで少し違う

> 41 者さんのために動けるのも麻酔の知識の して、患者さんのために力を合わせれば ある看護師なんです。きちんと棲み分け のは看護師。術後の痛みに気がついて患 いんです」

追求と同等かそれ以上の意義があると奥 周麻酔期看護師の導入は、先進医療の

谷は考えている。

取り組みなんです」 インパクトがある。新しい医療としての 「今までの医療の概念を変えるぐらいの

らも先頭を走っている。 この分野で千船病院は試行錯誤しなが



護部との橋渡しが出来るような存在では とをぼくたちに聞くこともできます。看 護師さんも麻酔科の先生に聞きづらいこ よって回復が促進する。また、病棟の看 患者さんの満足度が上がります。それに 術前と手術後の対応であると中谷は考え

術後にぼくたちが力を入れると

加えて、自分たちがやるべきなのは手

ちらを担当することができる」

たとき、

ぼくたちがいることで医師はそ

は考えています。緊急、重篤な症例があっ

ることがあるんですが、医師には医師に

れ以外の医行為の一部はぼくたちも出来

しかできないことをやって欲しいとぼく

為として医師のみに限られています。そ

「たとえば硬膜外麻酔などは絶対的医行

までも看護師なんですと強調した。

師を受け入れるという土壌がある程度で

いなんです。そして麻酔に特化した看護

きあがったところで戻ることができまし

非常に仕事がしやすい環境ですと中谷

そして、ただ、ぼくたちはあく

術室看護師として勤務していた頃から付

「(愛仁会の) 麻酔科の医師は元々、

手

き合いがありました。ほとんどが知り合

極的だったことだ。加えて、中谷の穏や して愛仁会が周麻酔期看護師の育成に積 を修了した先輩が愛仁会にいたこと、そ

かで真面目な性格もあったろう

落ち込む子もいます」 ドさに順応できなくなると苦痛だけにな 内で2つか3つぐらい。普通の麻酔科医 る。疲弊してもこの経験を次の病院で生 ない。そんな風に思う人も出てくる。ハー でやっていくのは、そこまでハードじゃ しんどい。時に思ったようにできなくて 「こんな重症な患者を扱う病院は大阪市 んですと首を振る。 落ち込んだ子を引き上げるのは難しい



ロボット手術指導医の原点必死に学んだ「若き夏の日々」

院の門を叩いた。 行われていた手術レベルに愕然とする。自分が理想と 外科医を目指そうと思ったが、25年前の大学医局は 願っていた。手術といえば外科しかない、その認識で を磨く研修環境を求め、国立がん研究センター中央病 する手術像と実際の手術の乖離に困惑した。 機会がある婦人科に入局した。ところが大木は現場で 10年間メスを握る機会さえ与えられなかった。 "白い巨塔』の全盛時代。上下関係が厳しく、 「医師になったからには、手術で患者さんを治したい」 医学部を卒業したばかりの若き日の大木規義はそう 当時から帝王切開などで、若手でもメスを握る 自身の腕 若手は なら

術に助手として参加し、手術中の若手への指導内容を 学ぶ濃密な日々を、6年間続けた。尊敬する医師の手 夏休みの間だけ手術研修に通えるようこぎつけました」 休憩時間にひとつも漏らさずメモした。 費で国立がん研究センターに滞在し、 い、ひたすら頭、眼、手のトレーニングを繰り返した。 「大学医局からは反対されましたが、 この当時、 研修医は無給だった。夏の1ヶ月間、 なんとか交渉して 最先端の手術を 師の背中を追 自

ンとなった現在は若手の手術教育に心血を注ぐ。「誤っ ルから解剖学に基づく高度な手術戦略まで、 ね。手術も同じで、 て覚えた箸の持ち方を、後から直すのは難しいですよ とが重要なんです」との思いから、手術の基本スタイ この鮮烈な学びを経験した大木だからこそ、 最初に正しい方向に歩み始めるこ 丁寧に教 ベテラ

以上を誇っている。全国屈指の成績だ。 験合格率は全国平均の50%をはるかに上回る90% 教育の積み重ねの結果、千船病院の※技術認定医の試 と連携し、早くから若手を送り込み、国内トップレベ ルの手術を体感する機会を与えている。こうした若手 える。また、自身も通った国立がん研究センター など

後の回復も早い。 えることができる最先端の手術法と言える。当然、術だ。ロボット手術は、患者の体への負担を最小限に抑 激を意味する。 は、生体内の恒常性を乱す可能性のある外部からの刺 医療の世界のキーワー 「ダヴィンチ」を活用したロボット手術である。 スなどの切開を減らすこと。その代表がロボット手術 現在、 特に力を入れているのが手術支援ロボッ 低侵襲とは患者の身体に傷を付けるメ ・ドは「低侵襲」である。侵襲と 近年、

を牽引する若い人材をしっかりと育てないといけない」 革新は決して戻らない。手術の世界も同じで、腹腔鏡、 ボット手術指導施設(メンターサイト)」に認定された。 船病院は2022年12月より、Intuitive 社(ダヴィ 手術指導医(プロクター)」に選ばれ、その結果、 らこそ、私自身も変わらなければならないし、 ロボット手術への進化の流れはもう止まらない。 ンチを扱う会社)公認の全国で13施設しかない「ロ ら全国の医療機関の手術指導・教育を行う「ロボット 「馬車から自動車に変わったように、一度進んだ技術 大木は2021年に日本婦人科ロボット手術学会か そう語る大木は熟練のロボット術者である。それでも 次世代 だか 千

に終わりはないから」と自らの進化をも力強く誓った。 「私ももっともっと、うまくならないと。手術の研鑽



今村 清隆

ヘルニア手術のスペシャリスト、 らやってくる外科医がいる。 千船病院にはおおよそ週1回、東京か

月曜日、 めだ。 ヴィンチ」を活用したヘルニア手術のた にある千船病院へ。手術支援ロボット「ダ 隆だ。週4日は東京の医院に勤務。 大阪環状線と阪神電車を乗り継いで福駅 新幹線で東京駅から新大阪駅、 今村清 毎週

患者の約10%が発症するともいわれ、日 膜・腱膜部分が離れ、その隙間から内臓 突出した状態を意味する。 く放置されることが多かった。そんな中 いる。しかし、今までは良い手術法がな 本で年間およそ1万件の手術が行われて ヘルニアである。お腹の手術を受けた が皮膚の下に飛び出る。これが腹壁瘢痕 手術の後、腹部の筋肉がついている筋 などが本来あるべき位置から脱出または ヘルニア」修復術だ。ヘルニアとは臓器 がんなどの

> 今村は、複数の医療機関への手術指導を 復術「eTEP-TAR」を早くに取り入れた 2018年に誕生した新しい内視鏡下修

きた患者さんを救うことができると考え い手術を行えるため、辛くても我慢して 「さらにロボットを活用すれば精度の高

た千船病院の北浜誠一医師に打診したと し、条件の合う病院はなかなか見つから 腹壁瘢痕ヘルニアを発症するのは肥満 付き合いのあっ しか

語る。

今村の背中を後押しした。 は困っている患者が多いはずだ。専門的

> ばれたり、新しいチャンスにも恵まれて 企業から声がかかったり、国際学会に呼 学びになります。それに自ら情報発信を 活動は拡大している。 しているからこそ、 るようになったため、私にとっても良い を問わず向上心がある優秀な仲間が集ま 「活動を続けるうちに勤務先やキャリア はじめた。職場が変わった今でも継続し、 完全なボランティアである。 さまざまな医療系の 勤務日の夜や休日

体系的に受けられるオンライン塾をつく 出会った仲間とともに高度な外科教育を 最先端を担うヘルニアセンターを設立す ること。そして腹壁瘢痕ヘルニア治療の り、日本の外科医療のレベルを引き上げ 今村の今後の夢は、これまでの活動で

「ヘルニア手術」のスペシャリスト週に1回、東京からやってくる

SERSECH ELLINGS

Fully Station

今村が力を入れているのが「腹壁瘢痕

自分の技術を提供できればという思いが 非常に少ない。東京だけでなく大阪でも の人が多い。「減量」に強い千船病院に ころ「ぜひ」とすぐに勤務が決まった。 なかった。そんなとき、 活かせる病院を東京近郊で探した。 たのです」 行っていた。 にこの疾患に対峙している医師は日本で 当初、 今村は自らのロボットの技術を

科全般の若手教育を行っている。座学で 今村は東京の自宅でオンラインにより外 の勉強のみならず、 手技も惜しみなく披

> ていた病院で任された教育活動の一環で露している。元々、この活動は以前勤め いる。楽しいですよ」と今村はさらりと



アクセスの良さからマンション建設が進んでおり、 大阪市内有数の工業地区として知られてきた西淀川区ですが、千船病院があるのは、大阪市西部に位置する「西淀川区」。

実はじわじわと人口が増加 梅田や難波とい

った都心部

の

大阪市西淀川区
人人

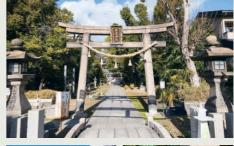
淀川のほとり、尼崎の隣

















姫嶋神社

姫嶋神社には、阿迦留姫命 (アカルヒメミコト)、 住吉大神 (スミヨシノオオカミ) が祀られていま す。主祭神であるアカルヒメは"決断と行動"の 神様であり、姫嶋神社は「やりなおし神社」とも 呼ばれています。新しいスタートを切りたい方は ぜひお参りください。

大阪市西淀川区姫島 4-14-2

[WEB] https://himejimajinja.wixsite.com/himejimajinja







田蓑神社には底筒之男命 (ソコヅツノオミコト)、

中筒之男命(ナカヅツノオミコト)、表筒之男命(ウ

ワヅツノオミコト)、神功皇后(ジングウコウゴウ) の住吉の四柱が祀られており、住吉の大神は古く から海上の無事を祈る航海安全の神として、また、

五穀豊穣、農耕の神、転じて産業、商業、貿易の

神としても崇められています。

大阪市西淀川区佃 1-18-14 [WEB] https://www.tamino-jinja.com/





大阪湾・淀川・神崎川に面している矢倉緑地は、 季節ごとの野鳥や植物に触れ合える西淀川区の秘 境!車では行くことができないこの公園には、自 然石を用いた荒磯自然護岸や水に触れ合うことが できる潮だまりがあり、運が良ければ小魚やカニ を間近で見ることができます。

大阪市西淀川区西島 2-1

[WEB] https://www.city.osaka.lg.jp/nishiyodogawa/page/0000001039.html



海老江 🔳

OSAKA NISHIYODOGAWA MAP

千船病院

日本初の海上 PA である中島 PA は、海に浮かぶ 船をイメージした建物。

1階からは窓いっぱいに広がる大阪湾を一望でき、 2階からは展望デッキに出て海風にあたりながら 景色をご覧いただけます。夕暮れ時には空と海の グラデーションが絶景です!

阪神高速 5 号湾岸線(神戸方面行)

[WEB] https://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/ douro/pa_guide/03pa_nakashima/



『食べる』と『遊ぶ』を子どもの2大天職と考え "栄養菓子"グリコを創製。江崎グリコの商品には、 子ども達を元気にするための創意工夫が凝らされ ています。大人の社会見学で、その熱い想いを体

※前日までの予約制 毎週月~金曜/第1・第3 土曜営業 詳しくはホームページをご確認下さい。

[WEB] https://www.glico.com/jp/enjoy/experience/

阪神高速3号神戸線

P. 16、20 第 2 特集 鄭先生、原田先生撮影場所

感して下さい!

大阪市西淀川区歌島 4-6-5







	診療科 センター 診療補助部門					一言 つき	
	薬剤科	消化器 内視鏡センター 高級	脳神経外科 學起學	画像診断科	糖尿病内分泌内科	診 ^で 飛 へる 。	
	患者によりそった薬物治療を実現する ため、地域との連携、患者にあった「く すり」の提案を実践します。	常に内視鏡技術の向上に取り組み、最 新の内視鏡機器を駆使して安全かつ苦 痛の少ない内視鏡診療を提供します。	一次脳卒中センター(PSC)として 24時間 365日脳卒中・脳卒中を疑う患者さまを受け入れています。	各種の画像検査・画像診断・診断装置 を利用したインターベンショナル・ラ ジオロジー(IVR)を実施。	糖尿病・内分泌疾患に幅広く対応しま す。	科 [/] 案 内	
	放射線科	肥満・糖尿病 駅 製 クログラング ログション はいます はいまい はいまい はいまい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	耳鼻いんこう科 『蘇『	外科 □ 製 □	消化器内科		
	24 時間各種緊急検査が可能。また、地域の医療機関からの検査依頼にも積極的に対応。	高度肥満症・2 型糖尿病など生活習慣 病に対して内科的または外科的治療を 包括的に行っています。	耳・鼻・喉の諸症状が何によって生じ ているものなのかを正しく診断し、最 適な治療方針を提示します。	待期手術も緊急手術も患者様のご希望 にそえるよう、できる限りからだに優 しい低侵襲手術で素早く対応します。	地域の需要に断ることなく迅速に対応 し、丁寧な診察と内視鏡検査で信頼さ れる消化器診療を心がけています。		
	リハビリ テーション科 記 録	地域周産期 野児 母子医療センター 闘 第	眼科	泌尿器科 學學	腎臓内科 學就學	千船病院 TOP	
	発症早期からあらゆる疾患に対応でき る質の高い理学療法・作業療法・言語 聴覚療法を提供。	産婦人科専門医療チームと新生児専門 の小児科医療チームが、様々なお産と 高度な周産期治療を行います。	一般的な眼科疾患から、小児における 斜視・弱視・内反症・霰粒腫等の小児 眼科領域の診察も行なっています。	ダヴィンチ支援手術・結石や前立腺に 対するレーザー手術など、安全かつ負 担の少ない治療を行います。	腎機能障害や血尿、蛋白尿などに積極 的に対応しています。	採用情報	
	検査科 製 製	腎センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	皮膚科	整形外科	呼吸器内科 學學	研修医・専攻医募集	
	診断および治療効果の判定のため、検 体検査・病理検査・生体検査を行い様々 な項目を分析しています。	腎臓専門医・泌尿器科専門医・腎移植 認定医・専属看護師・臨床工学技士に よる万全のサポート体制。	皮膚・毛髪・爪について、皮膚科全般 の診断と治療を行います。	骨、関節、筋肉、神経、腱、靱帯など の四肢の運動の問題に関わり、健康寿 命を伸ばすことを目指します。	呼吸器疾患・睡眠呼吸障害の治療において、ベストな治療ができるようサポートいたします。	ちぶね NOW	
	臨床工学科	関節センター	麻酔科	産科 奥	小児科/新生児科 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및	総合内科	
	院内で使われる様々な医療機器の保守 点検や操作等を行っています。	変形性関節症、スポーツ外傷など専門 的な診断と治療に関わり、病期やニー ズに合わせた治療の提案をします。	手術から分娩まで、安全で快適で無駄 のない、質の高い麻酔を提供できるよ う努めています。	母子センター併設の高度周産期医療、 麻酔科 24 時間対応無痛分娩、院内助 産など多様なニーズに応えます。	小児救急医療 24 時間 365 日対応(土 日祝もご紹介に対応しています)。	内科疾患を中心に、診療対象とする病 気や臓器・領域を限定せず診療を行っ ています。	
	栄養管理科 및 2000 1875	看護部	救急センター	婦人科	病理診断科	循環器内科	
	病状や環境など個人に合わせた栄養指 導の実施、おいしく・安心・安全な食 事サービスの提供を心がけています。	私たち看護師は、新たな命の誕生から 最期の瞬間まで、"ともに支えること" を使命とし取り組んでおります。	西淀川区の二次救急病院として、多く の救急搬送を受け入れています。困っ た時の頼れる救急センターを目指して。	腹腔鏡下手術・ロボット手術の認定施 設であり、全国トップクラスの症例数 と治療実績を誇ります。	米粒より小さな胃粘膜の生検組織から 肺や腎臓といった臓器一塊の手術検体 まで、組織形態学から全身を診断。	循環器救急医療、24 時間対応します。	
37							36



河野 優雅

普段は目にできない病院の中での一 場面を、読者の皆さまにお届けした い。編集に携わりだした当初はその 一心でしたが、取材や撮影に同席し て知らなかった千船病院に出会うた びに、私自身の1ファンとしての想 いもどんどん大きくなりました。 これからもっとたくさん千船病院の ファンが増えますように! 『虹くじら』に触れるすべての方に 感謝を込めて。

編集委員から一言

千船病院広報誌『虹くじら』は、

編集チームと病院内編集委員による会議から企画を生み出しました!











千船病院 事務部長 中山 健太郎

『虹くじら01号』を手に取ると自然 と笑みがこぼれてしまう。その 02 号 がまたできあがった。今回は、"ひと" に焦点を当てた。千船病院で働く多 様なスタッフの想いに触れてもらい たい。今回をもって一旦編集から退 くことになる。これまで携わってい ただいた皆さま、本当にありがとう ございました。今後は、一読者とし て次回作を楽しみに待ちたい。



看護部副部長 牧山 文

01号でも千船病院で働く人 を感じていただいたと思いま すが、千船病院にはまだまだ 人の輪をつなぎ続ける人たち がたくさんいます。

その人たちの思いや働きっぷ りをご覧いただき元気を感じ てください。



副院長・泌尿器科主任部長 樋口 喜英

千船病院はどんなところなの か?ほかの何かと比較するでも なく、生身のこの病院を感じて いただけると思います。01号 だけでは足りないもっと知って いただきたいという思いから 02号ができました。仕事に取 り組む心意気を垣間見ることが できる記事や写真はいかがだっ たでしょうか。われわれスタッ フの"真心"を感じていただけ れば幸いです。



事務次長 越智 敏之

医療従事者である私たちの日常は、 そうでない人にとっては非日常。ま してやコロナ禍で医療に対する見方 は随分変化している。そんな今こそ、 私たちのことを知って、触れてほし くて、この広報誌をみなさんにお届 けしたい。その思いを実現するため 02号より携わらせていただきました。 01号に続いて、千船病院を見て・知っ てください!



技術部リハビリテーション科科長

村田 尚寛

な「ひと」なのか。 虹くじらは病院の職員でも知 らなかったそのひとの一面が みることが出来ます。そのひ とに対して興味がわいたり、 親近感を抱いたり、実際に出 会ったときに医療スタッフと してだけでなく「ひと」とし て接することが出来るような そんな手助けが出来る広報誌 になっているのではないかな

と思います。

病院に携わる「ひと」がどん



看護部科長 奈良崎 由香

企画・台割・取材・撮影・原 稿確認 etc.. 言葉の理解から始 まった 01 号。広報誌の製作は 日常携わる医療の世界では経験 しないことばかりです。編集委 員は、読者のみなさんに千船病 院で働く人を知ってもらうきっ かけづくりと、編集チームの 方々をつなぐ役割であると感じ ながら 02 号では携わらせてい ただきました。

01 号に引けをとらない 02 号、 ぜひご覧ください!

社会医療法人 愛仁会 千船病院

スーパーバイザー 結城 豊弘

田崎 健太

村上 敬

今中 有紀

奥田 真也

矢倉 麻祐子

三村 漢 (niwa no niwa)

大貫 茜 (niwa no niwa)

編集長

写 真

デザイン

イラスト

〒555-0034 大阪府大阪市西淀川区 福町3丁目2番39号 (阪神なんば線「福駅|下車 徒歩1分) tel 06-6471-9541(代表)

虹くじら Staff

